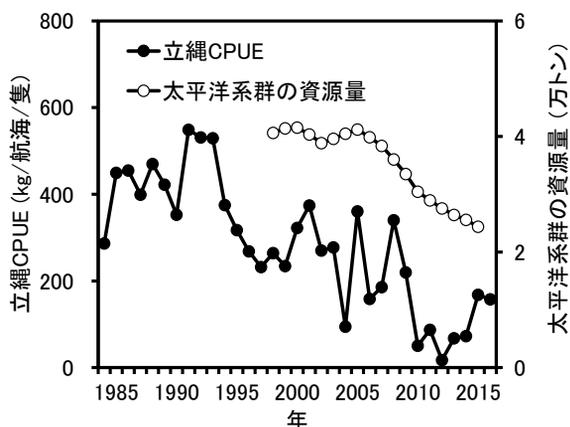


資源の動向 「低位・増加」



立縄CPUE (kg/航海/隻)と太平洋系群の資源量の推移

キンメダイ太平洋系群の資源量は2005年を境に大きく減少しており、平成28年度の国の資源評価では、資源水準は「低位」、動向は「減少」と判断されている。

主に東京湾口から伊豆諸島北部海域で操業する本県立縄漁船のCPUE(1隻1航海当たりの漁獲量)は、1980年代から90年代前半にかけて高い水準であったが、1993年を境に急減し、2012年に最低値を記録した。その後、2015年に小型魚の高い加入がみられたことにより、最近年は増加に転じている。

対象漁業

- 底立延縄
- 立縄(一本釣)



生物学的特性

- 分布:世界の熱・温帯域に広く分布する
日本近海では房総半島から伊豆半島沿岸、伊豆諸島周辺、四国沖、南西諸島周辺に多くみられる
- 移動:大陸棚斜面や海山に着底し、成長に伴い沖合の深場へ移動
- 成長:尾叉長は5歳で30cm前後、10歳で38cm前後(寿命は26歳以上)
- 産卵期等:6~10月(盛期は7~8月)

